

1月24日からの大雪被害

本日(2/1)午前9時現在

<インフラ等の被害>

- ・孤立集落：倒木等により佐治町加瀬木など8集落で発生 ⇒ 全て解消済
- ・停電：累計約2.3万戸で発生 ⇒ ほぼ解消済
- ・上水道施設：江府町柿原の25戸で断水 ⇒ 本日中の復旧に向けて作業中

<農林水産業被害>

120,596千円

※未判明箇所多数

- ・パイプハウスの損壊 55棟
- ・白ネギ等の葉折れ（米子市など2市2町）
- ・果樹棚の破損 2件
- ・畜舎等の損壊 7件
- ・農業倉庫等の破損 12件
- ・農業用機械の破損 5台

復旧・再建へ

- **【既定予算】**
災害復興調整費をただちに発動 **4,000万円**
※畜舎等の応急対応、被害を受けた白ネギ等農産物の販売促進活動を支援
- **【2月補正】**
農林業の再生産に向けた本格的な再建支援 **1億円**
- **【既定予算】**
除雪経費の追加執行を措置 **10億円** ※除雪経費合計30億円

(2月補正 予算)	園芸施設等 復旧対策	雪害農産物 販売促進対策
内 容	施設園芸・特用林産物ハウス、果樹棚、畜舎等の撤去・復旧	被害を受けた白ネギ等農産物の販売促進活動の支援
実施主体	農林業者、生産組合等	JA、全農とっとり等
補助率	1/3 ※市町村も別途支援	1/2
補正額	97,500千円	2,500千円

鳥取県令和5年度当初予算案

骨格予算編成であるが、新型コロナウイルス感染症対策に加え、コロナ禍・物価高騰対策等、産業・雇用・生活を立て直すため、緊急性を踏まえた予算を編成

予算規模 **3,350**億円

コロナ禍・物価高騰特別対策 65億円

- ✓ 生活困窮者等支援 2億円
- ✓ 観光・飲食需要喚起 12億円
- ✓ 中小企業・物流事業者支援 47億円
- ✓ 飼料・肥料・燃料対策 4億円

命と健康・安心安全 155億円

- ✓ 新型コロナウイルス感染症対策・健康づくり 115億円
- ✓ 孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会 7億円
- ✓ 鳥インフルエンザ等防疫対策の強化 3億円
- ✓ 防災・減災・大雪被害復興(※2月補正含む) 30億円

人が輝く未来づくり 108億円

- ✓ 子育て王国の充実・県版子どもの権利救済 50億円
- ✓ 国際バカロレア開校など多様な学びの機会創出 23億円
- ✓ 青谷かみじち史跡公園開園・文化・スポーツ振興 31億円
- ✓ 女性・若者・障がい者など多様性を活かした社会づくり 4億円

ポストコロナのふるさとづくり 193億円

- ✓ 白うさぎ年の観光推進・インバウンド再開 12億円
- ✓ 持続可能な地域社会の実現(移住定住・中山間・エコライフ) 29億円
- ✓ 力強い農林漁業・産業成長の実現
(産業DX・リスキリング・事業承継) 62億円
- ✓ 高速道路ネットワーク・港湾・空港インフラの充実 90億円

財政健全化を堅持～財政誘導目標を達成～

未来への積極的な投資と筋肉質の県庁体制など財政健全化に努め、持続可能な財政運営を実現

① 財政調整型基金残高

R4末時点：273億円

≥ 標準財政規模の1割

(目標値：215億円)

② 実質的な県債残高

R4末時点：3,511億円

≤ 県内総生産（名目）の2割

(目標値：3,716億円)

③ 当初予算編成時点でのプライマリーバランスの黒字化 (公債費－県債発行額 > 0)

R5当初時点：96億円の黒字



令和5年度に向けた組織編制

① 今後の感染症対策に向けた新たな体制

- ・5 / 8の新型コロナの感染症分類の変更を見越しつつ、円滑な対策の移行に向け、**福祉保健部に「感染症対策局」を設置**
- **コロナ対策本部事務局の現体制を感染症対策局に移行**し、感染症対策局の職員がコロナ対策本部事務局を兼務
(5類感染症への移行による**法に基づく対策本部の廃止後も、任意の対策本部を当面継続**)

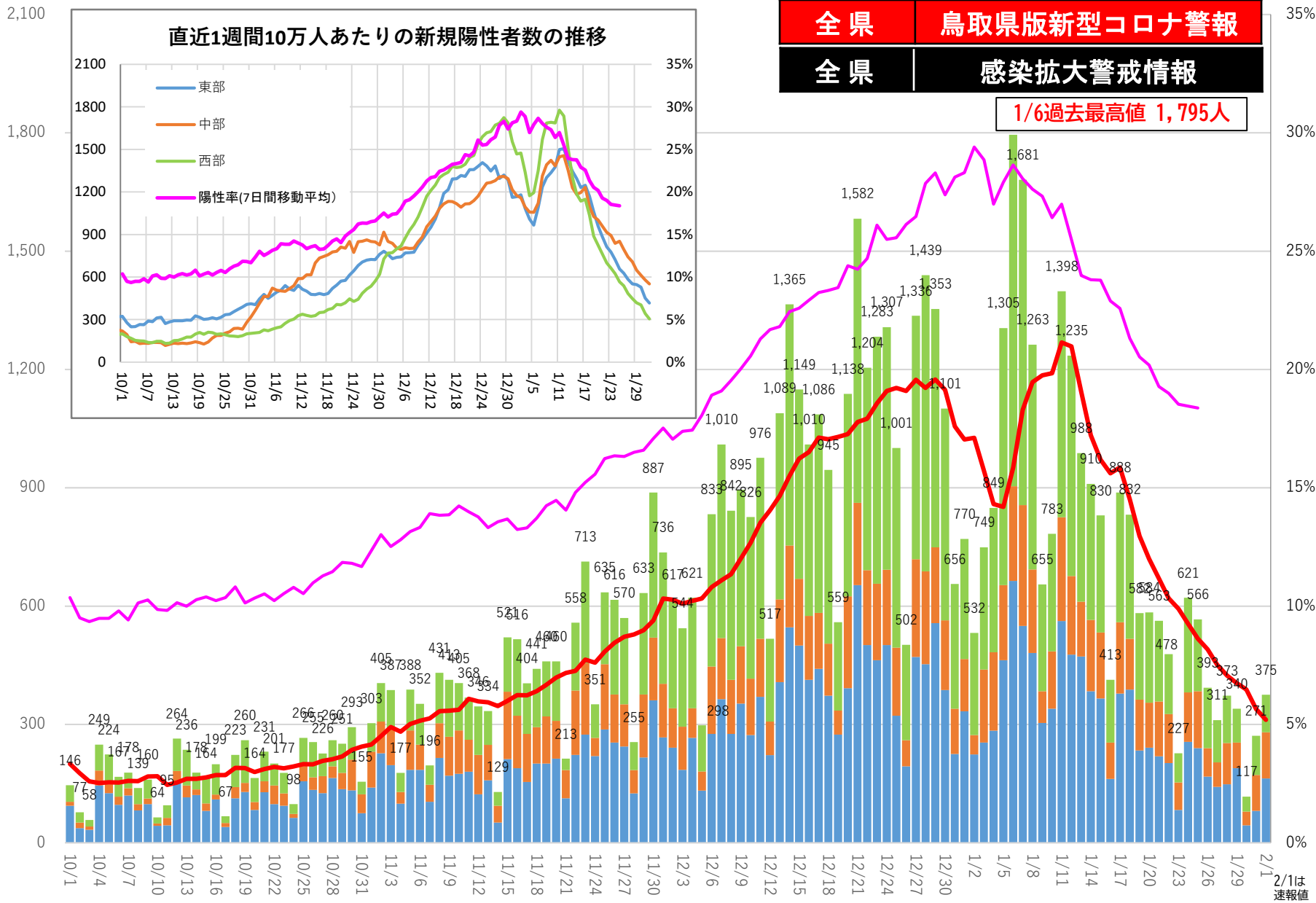
② その他の体制強化

- ・ねりんピック開催に向けた体制の強化 … ねりんピック・ワールドマスタースゲームズ推進課の体制を拡充 (**6 → 20名**)
- ・鳥インフルエンザ等対応に向けた家畜防疫体制の強化 … **「家畜防疫課」の設置**
- ・児童虐待防止に向けた体制の強化 … **倉吉・米子児童相談所を総合事務所県民福祉局と一体化**
家庭支援課児童養護・DV室を設置 → 3児童相談所を統括

鳥取県の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移等

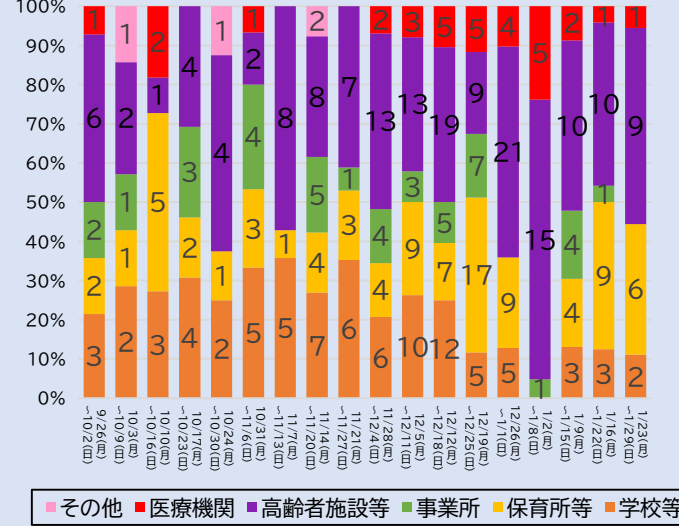
■ 東部 ■ 中部 ■ 西部 ■ 全県(7日間移動平均) ■ 陽性率(7日間移動平均)

全県 **鳥取県版新型コロナ警報**
全県 **感染拡大警戒情報**
 1/6過去最高値 1,795人



【最近のクラスター発生状況】

- ▶ 1月以降、高齢者施設等で46件のクラスターを確認
- ▶ 新学期や企業活動の再開等に伴い、学校・保育所・事業所でのクラスターも確認



【最近のオミクロン新系統発生状況】

- ▶ 従来のBA.5系統(BA.5.2、BA.5.2.1、BF.5等)の割合は減少 (12月 65% → 1月 56%)
- ▶ より免疫逃避能があると指摘される新系統(BN.1系統、BQ.1系統、BF.7系統)の割合が徐々に増加傾向 (12月 33% → 1月 42%)

(XBB.1.5は現時点で検出なし)

2/1は速報値

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更等に関する本県の対応方針

国に対して、継続措置に必要な財源確保及び国民や保健・医療の現場に混乱を生じさせないよう円滑な移行を求めていく

5月8日以降の取扱い

(1) 患者等への対応

- 入院・外来医療費の自己負担分の一定の公費支援は、今後国から示される具体的な方針を踏まえ対応する。
- 新型コロナ患者や発熱患者等の不安解消や適正に医療につなげるための相談体制を確保する。
- 宿泊療養施設は利用実績を踏まえて、5月に向けて段階的に縮小し、位置づけ変更までは継続する。

(2) 医療提供体制

- 今後国から示される具体的な方針を踏まえ、医師会等医療関係者と調整し、幅広い医療機関で新型コロナ患者が外来受診、入院治療できる医療体制へと段階的に拡充していく。
- 医療機関への個人防護具等の感染防止対策の支援は一定期間継続する。
- 臨時の医療施設は、今後国から示される具体的な方針を踏まえて検討する。
- 医療機関・高齢者施設のクラスター対策は継続し、その他の施設は段階的に見直す。

(3) サーベイランス・検査

- 届出は終了し、定点医療機関での把握に移行する。移行に備え、実態にあった把握が定点医療機関で可能か検討する。
- 変異株の発生監視のため、ゲノムサーベイランスを継続する。
- 特措法に基づく感染不安に対する無料検査は終了する（抗原キット等を利用した自主検査へ）。

(4) 基本的な感染対策（マスク、換気、手洗い等）

- 自主的な感染対策について、国が示す知見を踏まえた有効的な取組例などを県民に周知する。

(5) ワクチン接種

- 予防接種法に基づき4月以降も実施されることとなれば、今後国から示される方針を踏まえて必要な接種を行

感染症法上の見直しに伴うクラスター対策条例の改正検討

厚生労働省の専門家部会において、

「国民の生命及び健康に重大なおそれがある状態とは考えられないことから、
新型インフルエンザ等感染症に該当しない」ものと指摘され、

公衆衛生上緊急の対応を要する危険のある感染症ではなくなりつつある。

【改正方針】

5月8日の分類見直しを待たずに、まん延防止のための各種措置（施設の使用停止、公表、勧告）を行う必要性はなくなったと考えられる場合は、クラスター対策を発動しない。（再び強毒性の感染症となり、公衆衛生上、緊急の対応が必要と判断される場合は、再適用する。）

鳥取県版イベントガイドラインの改正（2/1から適用）

国のイベントガイドラインの変更に併せて、県版ガイドラインの見直し

<見直し内容(例)>

○大声ありのイベント 定員・収容率 50%→100%（ただしマスク着用）

○イベント申出書（感染防止安全計画）の届出対象を 通常時1,000人→5,000人 警報発令時 100人→5,000人

○ディスタンス 1m→人と人が触れ合わない間隔

企業立地促進のための県税の不均一課税の延長

〈「特定地域等の振興を促進するための県税の特例に関する条例」改正(案)〉

○**県内産業の成長を応援し、県内経済の活性化を図るため、**
企業立地に伴う不動産取得税の軽減措置を5年間延長



県独自の税制優遇によって、企業の投資意欲を喚起!

【対象】産業成長事業により新たに取得する**建物・土地の不動産取得税**

【軽減税率】4%(土地は特例によりR6.3.31まで3%) → **0.4% [現行どおり]**

【適用期限】令和5年3月31日まで → **令和10年3月31日まで [5年間延長]**

◀過去の適用実績▶

- ・自動車部品の受注拡大に対応した金属加工工場の増設
- ・社内一貫生産体制を構築するため、菓子製造工場を増設

◀適用の要件▶

業種	投資額要件	交付要件
・製造業 ・道路貨物運送業 ・情報処理・提供サービス業 等	3,000万円超	産業成長応援補助金(大型投資)の交付決定を受けた 産業成長事業

鳥取県職員採用試験(大卒・技術職)の見直し(R5年度~)

専門性を活かして受験しやすくなります

○大学卒業程度の技術・専門職(土木、農業等)について、より多くの方に受験いただけるよう試験内容等を見直します。

- ・第一次試験で実施していた「教養試験」を廃止(専門試験、人物試験等で判断)
- ・受験可能年齢の上限を引上げ(35歳→40歳) ・募集期間の拡大(4月下旬~ → 3月1日~募集開始)

※近年の応募状況(競争率が概ね2倍以下のもの) … 土木、畜産 など

(○土木(R4:1.1倍、R3:2.0倍、R2:1.3倍) ○畜産(R4:0.8倍、R3:3.0倍、R2:2.0倍)) ※倍率は当初試験時(追加試験含めず)

鳥取うみなみライド（3月19日）初開催！



- 鳥取うみなみロード全線を活用したライドイベントを初開催
- 境港市・岩美町をスタートとする東西2コースを設定（ゴール：湯梨浜町ハワイ夢広場）
- エイドステーションでご当地グルメを堪能しながらゴールを目指します。

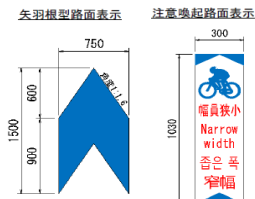
➤ 鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議を開催（2月3日）

⇒ 鳥取うみなみロード整備計画を策定し、NCR指定に向けた整備を加速化！

【走行環境整備】 誰もが安心・快適に迷わず走行できる環境づくりに向けた目標・取組を決定

【受入環境整備】 サイクリストのニーズに対応したサポートの充実にに向けた目標・取組を決定

サイクリストに優しい宿の例
（国民宿舎山紫苑）



国道53号黒尾峠防災対策について

国道53号黒尾峠防災行政勉強会で検討開始へ

令和5年2月3日（金）午後1時30分 智頭町総合センター
中国地方整備局、鳥取県、岡山県、智頭町、美作市、奈義町

- 冬期の交通課題とトンネル等構造物の老朽化対策の検討を行う
- 黒尾峠の現状の課題、気象観測状況、その他検討状況を共有



「新型コロナ安心対策認証店」特別応援キャンペーン 延長・追加発行！

■ 期間延長 **3月20日** (月)まで (現在:1月10日(火)から2月10日(金)まで)

■ 追加発行 **2月11日(土)から随時開始**

○ プレミアム率: 個店 **12.5%** (4,500円券を4,000円で販売) ※参加店舗: 815店 (1/24時点)

エリア版 **25%** (5,000円券を4,000円で販売) ※参加エリア: 9エリア(176店) (1/24時点)



「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指す知事の会

■ 2月2日(木)10時半～ 齊藤鉄夫国土交通大臣へ要望

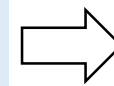
■ 会長: 蒲島熊本県知事、幹事長: 平井知事、事務局長: 山本群馬県知事

■ 要望内容

日本が誇る温泉文化のブランド化と保護のため

- ① 観光庁内に有識者による登録に向けた検討会の設置
- ② 温泉がもつ文化的要素の調査研究
- ③ 「ONSEN」のブランド化による観光振興

令和6年度
国内候補に決定



令和8年度
ユネスコ登録

をめざす

日本のユネスコ無形文化遺産
能楽、歌舞伎、和食、和紙(日本人の伝統的な食文化)など22件
(令和4年に風流踊を登録)

インバウンド再開後 初の国際便運航！

中華航空（台湾）による米子鬼太郎空港インバウンドチャーターが就航！

期間：3月28日、4月1日、5日、9日の4往復（3ツアー）

区間：台湾桃園国際空港～米子鬼太郎空港

機材：A321neo（180人乗り）予定

旅行社：鳳凰旅行社



【販促プロモーション（予定）】

- ・SNSでの県内桜スポット紹介記事の作成、ユーチューブによる観光スポットの動画公開（2月）など情報発信を強化、旅行社と連携した旅行商品の販売PR
- ・空港での鬼太郎の着ぐるみによるおもてなしや記念品等プレゼントの実施 など

川口和久氏を「鳥取県スポーツ特別アドバイザー」に！



- 元トッププロ＆名コーチならではの指導力で県内部活動をレベルアップ
- 川口氏の人脈で元プロなど県外指導者も協力

2月7日（火）
アドバイザー
委嘱式

第2弾も好評でした「白うさぎ年 開運カニだのみ! カニセル！」

週末は開店前から行列！30分で売切れ！

実施期間、場所：1/10～31、とっとり・おかやま新橋館

内容：鳥取旅行券(3万円)、松葉がに、カニパフェ、白うさぎ鍋、食事・買い物券、白うさぎかに福袋が500円で当たる

⇒ 旅行券当選22名のうち8名が早速鳥取旅行を申込済み。

・日テレ、TSK、Yahoo!ニュースなどメディア多数。広告効果約8,000万円。

・嬉しい！今年の運を使い果たしてしまった。

鳥取県に是非行ってみたい！

・白うさぎ鍋が可愛くてボリュームもあり美味しい！

50本/日
毎日売



来店者の声

全国初！「メタバース関係人口」の創出

全国の自治体で初めて、メタバースに特化した課の創設やコミュニケーション能力に長け「白うさぎ年」にちなんだAIアバターにより、メタバースやNFTで「メタバース関係人口」創出

メディア発表会 2月2日（木）11時45分～ 八芳園

鉄腕アトムとコラボした県版NFTトレーディングカードを楽しみながら、世界中のアバター同士が交流できるバーチャル拠点の設置や、AIアバターを活用した世界中のメタバース愛好家との交流促進など

